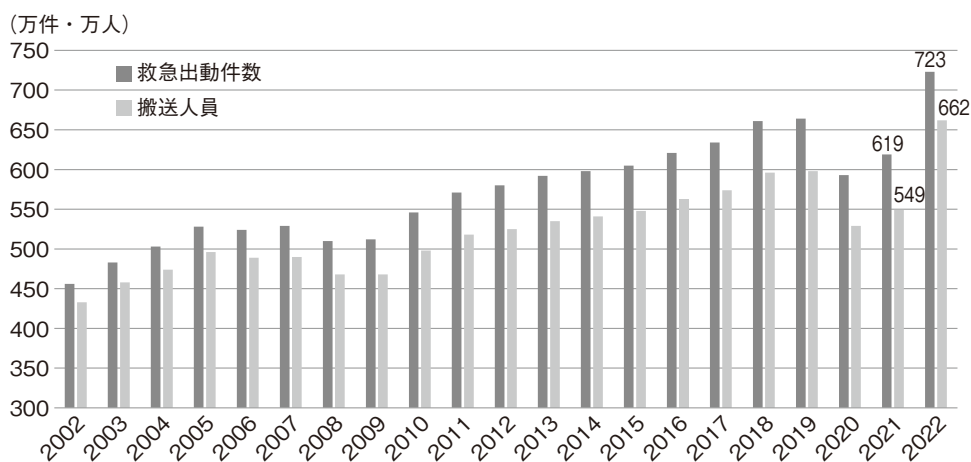


救急出動件数と搬送人員の推移



2023年3月末、総務省は2022年の救急出動件数等の速報値を公表した。これによると、救急出動件数は前年比16.7%増、搬送人員は13.2%増で、いずれも集計開始以来の最多を更新した。また、救急出動件数が700万件を超えたのも初めてである。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、救急車の出動件数を大幅に引き上げた要因と思われる。内訳をみると搬送人員の6割は高齢者であり、高齢化の進行に伴い、年々この割合は増加傾向にある。事故種別の救急出動件数・搬送人員について、5年間の推移では「急病」が7割近くを占める一方、「交通事故」による搬送は減少しているという。

総務省「令和4年中の救急出動件数等（速報値）」より作表